

平成 29 年度 第 1 回岡崎市図書館協議会議事録

- 1 日時 平成 29 年 7 月 13 日 午後 2 時～午後 4 時
- 2 場 所 図書館交流プラザ（りぶら）
3 階 302 会議室
- 3 出席委員 竹下委員、平岩委員、田島委員、佐藤委員、
山田委員、市橋委員、片桐委員、波多野委員

傍聴者 なし

説明のため出席した事務局職員

安藤社会文化部長、爲井中央図書館長、三宅副館長、
鈴木総務係長、天野資料提供サービス係長、
大山情報サービス係長、杉山総務係主査

- 4 次 第
 - (1) 文化芸術部長あいさつ
安藤社会文化部長あいさつ
 - (2) 委員紹介
各委員自己紹介による
 - (3) 会長及び副会長選出
会長：竹下委員、副会長：市橋委員
 - (4) 会長あいさつ
竹下会長あいさつ
 - (5) 議事
 - ア 平成 28 年度の事業報告
 - イ 平成 29 年度の重点目標

ウ 平成 29 年度事業計画

エ その他

(6) その他

5 報告及び議事の要旨

(1) 平成 28 年度の事業報告

事務局より説明

(議長)

・ただいまの事業報告につきまして、何かご質問などございましたらご発言いただくようお願いいたします。

(委員)

- ・「シネマ・ド・りぶら開催実績」について、りぶらサポーターズクラブと協働で実施しているが、サポーターズクラブ側から実績数字を提供するので、参加人数の実績を図書館概要に掲載すると良い。
- ・入館者数はどのようにカウントしているのか。

(事務局)

- ・図書館入口のゲート部分を通る人の数を赤外線センサーでカウントしている。

(委員)

- ・児童読書活動支援での貸出冊数は全体の貸出冊数に含まれているのか。91,480冊とあるが、中央図書館の貸出冊数の内数か、外数か。

(事務局)

- ・貸出冊数に含まれている。

(委員)

- ・登録者数について、新たに登録した人の分増えていくのは分かるが、亡くなる方もおられると思われる。減る方はどうカウントしているのか。

(事務局)

- ・以前図書館システムを更新した際に、10年間未使用の利用者について登録を抹消している。その後は行っていないため、今年度のシステム更新時に10年以上利用していない利用者について整理を考えている。

(委員)

- ・どの図書館でもこのような対応をしているのか。

(事務局)

- ・対応は図書館によって異なると思われる。

(2) 平成 29 年度の重点目標

事務局より説明

(委員)

- ・額田図書館移転について、移転後は南部市民センター図書室のように委託業者が従事するのか。

(事務局)

- ・新額田図書館についても現在と同様委託業者の図書専門スタッフを配置する予定である。

(委員)

- ・図面を見ると図書館の隣が和室となっているが、この和室で図書館の本を読むなどできるのか。

(事務局)

- ・額田センターの管理は図書館ではなく、りぶら同様センターの一施設として図書館が入ることになる。和室等は貸出施設として額田支所の管理となる予定である。

(委員)

- ・現在蔵書が 43,899 冊あるのが約 2 万冊になるということは、残りはどういった処分をするのか。その場合の選書条件について、特に地域資料、郷土資料の扱いについてどのような考えか。

(事務局)

- ・利用が多いものは必要だと考えており、一般書や児童書など貸出できる資料については貸出回数や最終貸出日を目安に選びたい。活発に動いている資料については積極的に残していく。郷土資料など貸出しない資料については実績数値を持たないため、職員が直接目で見て判断する。

新額田図書館へ移動させない図書について、中央図書館で所蔵がないものについては中央図書館へ移動させる予定である。中央図書館で既に所蔵しているものについては除籍処分となるが、本として活用できるものであればリサイクル資料として、児童書に関しては市内児童育成センターやこどもの家など児童書を必要としている施設に提供している。一般書に関しては、希望利用者へ配布を行っているので、同様に提供できるものは出していく予定である。

(3) 平成 29 年度事業計画

事務局説明

(委員)

- ・「りぶらまつり」と「図書館まつり」は何が違うのか。

(事務局)

- ・図書館交流プラザりぶらは文化施設や交流施設などが入った複合施設であり、「りぶらまつり」は施設全体でのイベントになる。一方「図書館まつり」は図書館単体で実施している。

(委員)

- ・「りぶらまつり」では昨年度何を実施したのか。

(事務局)

- ・図書館としてはバックヤードツアーというイベントを行っており、普段見ることのできない書庫、自動仕分け機や返却ポストの裏側などを案内、紹介するツアーを行った。

(委員)

- ・夏休みのイベントや「図書館まつり」のちらしは小学校や中学校でも配布しているのか。

(事務局)

- ・全児童、全生徒分に行き渡る程の数ではないが、市内各学校へはこうしたイベントの際には必ず送るようにしている。

(4) その他

(事務局)

- ・さる 5 月に各種メディアでも報道された、小中高等学校の記念誌切り取り被害が中央図書館でもあったため報告させていただく。
5 月 6 日小学校誌の切り取り被害が一件発見され、新たな被害を防止するために、1 階フロアの書棚に置いてあった市内の小中高の記念史を一時的に閉架書庫へ移動させ、閲覧希望には請求に応じて書庫から出す運用を行っている。

(委員)

- ・事前質問として、大府市の図書館が日本一になったと新聞報道があった。人口規模 10 万程度の年で一人当たり貸出冊数か何かが日本一、日進市が 4 番目か 5 番目であったと記憶している。人口規模は違うが、岡崎市の図書館の場合合同規模図書館の中でどのような位置づけか、愛知県内の図書館ではどのような位置づけかを教えてほしい。

(事務局)

- ・ 大府市の図書館については、大府市の図書館の指定管理者である図書館流通センターが「日本の図書館 2016」で公表された数値をもとに作成した統計資料で、2015 年度実績で人口一人当たりの貸出冊数で人口 6 万～10 万規模の自治体で全国 1 位となったことが報じられた。

岡崎市については同様の資料がなかったため、上記資料から大府市と同様の方法で算出すると、公立図書館のある県内市町村 48 自治体のうち 24 番目となり、ほぼ中央に位置している。全国の人口 30 万～40 万規模の自治体では 24 自治体中 6 番目となり上位 3 割の自治体に入ると思われる。

(委員)

- ・ 同じく事前質問で、外部への情報発信について「すくすく」という冊子に子ども図書室の利用案内や図書館情報が掲載されていたが、他にも子どもたちのために外部への発信を行っているものがあるか。

(事務局)

- ・ 図書館実施イベントの周知方法については報道機関への発表、市政だよりへの掲載、インターネットを利用したホームページ、ツイッター、フェイスブックの他、紙媒体ではチラシによる周知となる。

チラシは子ども図書室や南部市民センター図書室、関連施設として市内公立小中学校、特別支援学校、聾学校、盲学校、幼稚園、保育園、児童育成センター、学区こどもの家、地域文庫、地域図書室、地域交流センターなどに配架している。

(委員)

- ・ 「すくすく」について子育て支援センターの職員に伺ったところ、図書館へ依頼して記事を掲載していると回答があったが、他にも図書館情報を載せたいといった依頼はあるのか。

(事務局)

- ・ 「すくすく」への掲載経緯は昨年度依頼があり、それから実施をしている。「すくすく」以外では保健所が健診時に配布している A 4 サイズの健診情報誌にブックスタートのことを掲載いただいているが、継続的に掲載しているのは「すくすく」のみである。

(委員)

- ・ 事業計画について、以前にも一度手話による読み聞かせ、ストーリーテリング、そうしたものをお願いしたが、今回の事業計画には外国語読み聞かせは入っているが、手話の読み聞かせは入っていない。多くの図書館で行っていると思うが、検討をしてみてもどうか。

前の水越館長が何かで挙げられていた 3 つの課題というのがあり、「滞在型の

図書館にする」、「課題解決型図書館にする」、3番目に「障がい者サービスの充実」という3つを挙げられていた。そうした重点として取り上げている以上、障がい者サービス、盲人へのサービス、聴覚障害者へのサービス、手話による読み聞かせ、ストーリーテリングなどに是非取り組んでほしい。社会福祉協議会等とも連絡を取り、考えてほしいと提案する。

(事務局)

- ・昨年度は冬休みイベントのひとつとして「手話と声のおはなし会」というものを開催し、色々な方に御協力いただく中で人が集まり、開催できた。今年度も実施を検討しているが、人材面でやっていただく方というところで難しい面もあり、今年度は来年度業務を考えるにあたって、市内特別支援学校や盲学校・聾学校へどういったサービスがあったらよいか聞き取りを行っている。必要性は重々承知しているので、進めていきたいと考えている。

(委員)

- ・通常の読み聞かせに社会福祉協議会等を通じて、ボランティアの方に通訳をお願いすることはできないのか。

(事務局)

- ・可能だと思われるが、いつ実施するものをそうするかも考えねばならない。イベントとしてはまず周知が必要であり、手話と声で行っているということを知りながら、いつ、ということを知りながら準備して計画を立てて行きたい。昨年度実施した「手話と声のおはなし会」は実際に手話を使っている、障がいをお持ちの方にやっていただいたが、受け手からするとネイティブの方にやってもらうと違いがあるため、出来ればそういう方をお願いできないかと検討している。社会福祉協議会へ協力依頼するのも方法としてありうるので、それも含めて検討していきたい。
- ・事前質問で、ここまでにお答えしていない分についてまとめて回答させていただく。
- ・読書通帳機の成果について、平成29年4月の実績を前年同月と比較すると、貸出者数は一般利用者が前年比100.5%に対し、15歳以下の児童は135.4%、貸出冊数は一般利用者前年比98.6%に対し、15歳以下の児童は129.3%と増加しており、読書通帳機の利用が子どもに読書する機会を提供する一助になっているのではないかと考えられる。
- ・続いて現在（近代）の郷土資料の収集方針について、地域資料の収集方針については「岡崎市立図書館資料選定収集要綱第2条」で定めるとおり、岡崎市を主に広くは県内に関する地域資料及び徳川家康・菅江真澄・鶴田卓池の各文庫に関する資料の積極的な収集に努めている。

今回の質問の趣旨は現在の公文書や活動資料など、行政資料の収集方針とお聞きしているが、「岡崎市立図書館資料収集要領」にて「岡崎市の発行する行政資料は網羅的に収集する」こととしている。

定期的な発行物は担当部署から納本されるが、資料によっては課のホームページに公開し、紙媒体で発行されないこともあるため、日頃から市のホームページをチェックし、保存価値のあるものは印刷して図書館資料にしている。また、市役所の市政情報コーナーに行つてパンフレットなどを収集したり、担当課へ直接資料をもらいに行く等も行っている。

予算書や市議会議案書や統計資料などの冊子、図書館協議会など岡崎市附属機関等の会議録、各課で策定した各種計画書などいつでも閲覧できるよう、これらの行政資料は1階レファレンスライブラリーの棚番号63に配架している。

- ・夏休み中の子ども向けのイベント等企画があれば教えて欲しい、ということについて、「議事資料(4)その他」をご覧いただきたい。事業計画資料に載っている事業もあるが、「夏休み科学あそび講座」を8月10日にりぶら103号会議室で行う他、8月8日(火)にシビックセンター1階ロビーにて、夏休みお楽しみおはなし会を行う予定である。

また、岡崎むかし館では夏休み子どもイベント「岡崎むかし館クイズラリー」を開催し、合わせて岡崎むかし館主任専門員が調べ方やまとめ方などの疑問、質問に答える「社会科自由研究相談会」を実施する。赤色のA4サイズのチラシについても、子ども図書室のイベント案内チラシとなっているのでこちらの方も参考にしてほしい。

(議長)

- ・その他事前質問以外で何か質問などあるでしょうか。

(委員)

- ・南部市民センターや各市民センターでおはなし会に参加すると、スタンプカードにスタンプを押してもらえて、集めるとちょっとしたものを貰えるとお母さん方からも好評だと聞いているが、これからも続ける予定なのか。また、期限などはあるのか。

(事務局)

- ・好評を博しているということで、今年度も継続実施する予定である。また、期限等は設けていない。

(委員)

- ・リクエスト本について伺いたい。基準としては他の図書館にあるものは購入ではなく取り寄せになるのか。先日新聞で紹介されていた本をリクエストしたが、他の図書館から取り寄せていただいた。中央図書館で所蔵してはどう

かと思ったのだが、その基準はあるのか。

(事務局)

- ・他の図書館とは市外の図書館ということか。

(事務局)

- ・「心に残るあの一言、あの一文」という 2015 年 9 月 15 日発行の図書をリクエストした際、どこの図書館からだったかは忘れたが、岡崎の図書館ではなかった。古いもので購入が難しいものは他の図書館から取り寄せでも良いと思うが、どういう基準で決めているのか。

(事務局)

- ・新規購入の予算は限られているため、どうしても新しい本を優先に選んで購入している。リクエストされたものの中からもできるだけ購入するにはしているが、他の図書館、例えば愛知県図書館や豊田市図書館等に所蔵がある場合は、相互協力ということでそちらからお借りして、それを利用者に提供するというかたちでやっている。その本が他の方からもリクエストが出たとか、何度も相互協力で貸し出すなどの場合は再度購入を検討することもある。

(委員)

- ・新刊の購入基準についても聞かせてほしい。

(事務局)

- ・新聞書評に載るようなものは多くの方が興味を持たれるので、積極的に購入している。収集要領は先ほど説明したようなものがあるが、一般的に多くの方が関心を持たれるであろうテーマについてや、文芸書等多くの方が利用される資料は購入するようにしているが、専門書については高価になるので、専門性や価格も選定の際考慮に入れている。

(委員)

- ・最近岡崎市も色々な外国の方が多く生活されていると感じる。私どもの幼稚園関係でも岡崎市が配布する様々な資料について、中国語、ポルトガル語、もちろん英語もだが、タガログ語など様々な保護者の要求に合わせて市に提出するものが多言語で準備され、配布されるように少しずつ進んでいる。図書館まつりやそういったものについても、そうした準備をしないでいけない時代が来るのかなと感じている。私どもの園の掲示板に図書館から送られてきたものを貼り出して、園でも周知をするが、多言語でご案内ができないので、今後そうした準備をされる予定があれば良いと思う。たとえば保護者の方に補助金が出るが、申請書類を書くのに私たちが説明できず、市へお願いしたところ今後も必要となるのでとすごく努力をしていた。

全てではなく、必要なものだけで良い、子どもを抱えた親というのは、子どもを色々なところへ連れて行きたくなるが、連れて行った先で子どもが馴染んでも、連れて行く保護者側がなかなか理解できない、そういった話も聞いている。大変難しい、勝手な要望かもしれないが、岡崎も色々な方が生活し、広がっている。そのあたりはどう考えているか。

(事務局)

- ・現在外国語読み聞かせについては、チラシを外国語で準備しているが、全てについて準備はまだできていない。

ブックスタートについては受け入れというよりこちらから出向いて岡崎市で生まれた方全てを対象としているので、外国の方についてもブックスタートがどういった活動か分かる案内を用意している。ブックスタートの説明と赤ちゃん絵本をどう楽しむかという冊子を渡しているが、外国語版を用意して差し上げている。ポルトガル語、英語、韓国語、スペイン語、中国語、タガログ語、ブックスタートに関しては市販のもので購入できるものがあったので、赤ちゃん絵本を楽しむための冊子については対応しているが、いただいた御意見についても今後の課題としていきたい。

(委員)

- ・この図書館がオープンして8年8か月と聞いて、図書館建設の際、パブリックコメントで伺った話で、外部の先生が「これまでの図書館は中学生や高校生が図書館で試験勉強など行うために占領するといったことがあったが、これからの図書館は市民がもっと文化的で学びの場であったり、そのような学生が占拠するようなことはあってはならない」ということを言われて、びっくりした記憶がある。これからの図書館はそういった位置づけを考えなければいけないのかと、その理由として一般利用者からクレームが来ることを考えてそういった話をされたと思う。私たちは自習室の設置やオープンの座席を開放したほうが良いなどの意見を持った側になるが、実際にこの8年8か月の間に何か問題は起きたか。

(事務局)

- ・現状高校生の試験期間の1週間前、2週間前というのは集中して学生が集まる。学生が利用できる席は306席あるが、試験期間には朝整理券を配布している。事前に高校に周知したり、ツイッター等で整理券配布をお知らせし、開館前の8時45分から整理券を配っている。

(委員)

- ・一般の方から利用についてクレームなどあるか。

(事務局)

- ・最初のころはかなりクレームが多かったと聞いている。学校に対して通知を

出したり、マナー周知をすることで収まってきている。ただ、新1年生が入る時期、年度初めはマナーの悪さの話はあるため、集中的に巡回したり、マナー周知を高校にお願いしている状況である。

(委員)

- ・岡崎の図書館が大混乱しているということはなく、対応できているということではよろしいか。

(事務局)

- ・図書館に対しての考え方も色々あり、静かな場であるという考えと、交流の場としての考えもあり、やはり静かであってほしいという層からはがやがやしていると集中できないなど、苦情は出ている。

(委員)

- ・高校生については直接学校へ意見を貰うこともあるが、今事務局から話もあったように、年度当初はマナーが良くない生徒もいると思う。学びの場としてとらえれば、マナーを学ぶ、子どもたちが意見をいただいて成長する場でもあると捉えてもらえるよう、学校も務めたい。図書館へはお世話をかけるが、御連絡いただければ学校と連携をしながらやっていければと考えている。やはりお互いが気持ちよく利用できると思うし、子どもたちへは周囲への配慮を指導していく必要があると思うので、折に触れて連絡いただければと思う。
- ・関連して、図書館の概要や事業報告へはそういったことは実績として現れてこない。中高生が図書館で勉強をしているというのは大きな事実として存在しており、席を300幾つ用意しているという話もあったが、図書館業務の大きな部分を占めている。何かそういった業務をやった、やっているという記録を残せないか。それが図書館機能の一部となっているのは誰もが認める場所だと思うが、表へ出てこない。例えば1日なり1月の勉強した学生数とか、そうしたものが分かると思うが、難しいか。

(事務局)

- ・整理券配布時期は概ね席が埋まってしまうので、図書館としてはだいたいの把握はできている。持ち込み学習は本来の図書館の目的ではないため、図書館の事業報告などに載せる本来的な業務ではないと認識している。

(委員)

- ・恐らく全国の図書館でもそれを実績として捉えているところはないと思うが、この事実は大きなウェイトを占めている。入館者の何割かを占めていると思われるし、業務としてのしかかっている以上、実績として捉えたほうが良いのではないかと考える。
- ・持ち込み学習の学生が大半だと思うが、将来的に図書館の利用者になっても

らえるよう、小学生くらいの時に図書館を使って調べものをする、その教育をしてもらえると、単に勉強するだけでなく、有効な利用をしてもらえるのではないか。図書館の方に言っても難しいが、小中学校の先生にはお願いしたいと思う。登録者に対しての貸出も文芸書だけでなく、調べもの利用も増えるのではないか。

- 本来は持ち込み学習は締め出しても良い、図書館業務ではないのだから。そういう人のために市や学校関係が図書館の隣でも駅の近くにでも、場所を別に用意すればよい。そういう中高生、家で勉強しにくい人たちが集まる場所を作ってくれば図書館が無用な負担を負わずに済む。本来図書館がやらなくてもいいことをやっているかもしれない。

ただし、現実には図書館しかないのか、図書館が良いのか分からないが、その任務が図書館に負わされている、これは大きな事実である。それがほとんど評価されていない、世間に認められていない訳である。それを何か数字や形にして、これはやはり図書館に負わせるべきでない、別途方法を考えるべきだ、という方向も出てくるかもしれない。今そういう役割を図書館が負わされているので、入館者のカウントのためには必要かもしれないが、本来そういったものではないので、実態把握はきちんとやったほうが良いのではないか。図書館がしわ寄せを受けている、そのために負担が生じているとなれば、対策を考えねばならないとなっていくのではないか。

もちろん学習の場は中高生にとっては大切なことなので、今はその大切な役割を図書館が担っている、そこをどう評価してもらおうかが必要だと思う。

(議長)

- 設立当初の意見として、図書館のあり方について学生の学習の場をどう捉えるかというのは何もこの図書館に限った課題ではないと思われるので、各委員から出た意見も含めながら、長期的な課題として考えると共に、将来の図書館利用者の育成という面も間違いないので、そういう中で評価と言うか、学習利用への評価も変わってくるかなと思われるので検討いただけたらと思う。

(委員)

- アピタなどのフードコートと同じ状況、存在になってしまっている。

(議長)

- 他にはよろしいでしょうか。それではご議論いただきありがとうございます。議事は全て終了しましたので、これにて進行を事務局へお返しします。

岡崎むかし館入館者数



企画展示

テーマ	内容	期間	入館者数(日数)
《りぶらギャラリー》能見神明宮大祭	能見神明宮大祭日(5/7~8)に合わせて、大祭の概要、日程、山車巡行図などを紹介	28年4月28日(木)~5月9日(月)	-
岡崎ストーリー~JR岡崎駅周辺~岡崎競馬場・清風軒旅館	「岡崎競馬場」と「清風軒旅館」に関する資料を展覧	28年5月19日~7月12日	11,435人(48日)
《りぶらギャラリー》未来に残すみんなの岡崎「百」選 応募写真展示	応募写真の中から約100点を選択し、テーマに分けて紹介	28年5月28日~6月6日	-
くらしの道具-今と昔-⑬食具-膳	食に関する道具の中から、個人用の食卓「お膳」を紹介	28年7月14日~9月13日	18,423人(54日)
昭和のひとコマ	木彫り教室きつつきの作品「昭和の頃」をりぶら映像アーカイブス収録写真と共に展覧	28年9月15日~12月13日	21,076人(79日)
道具に見るくらしの変化	衣食住にまつわる代表的な道具を取り上げ、道具の変化からくらしの移り変わりを提示	28年12月15日~29年3月21日	20,245人(71日)
むかし館のひな飾り	季節展示として、ひな飾りや郷土玩具を展示	28年2月2日~29年3月21日	[展示期間重複]

その他関連事業等

催事名(内容)	会場	日時/開催期間	参加者数
講座「岡崎風土記」 技の伝承からひもとく岡崎	りぶら 103号室	28年4月25日(月),6月27日(月),9月26日(月),11月28日(月) 共通/10:00~11:30	111人
夏休み子ども体験講座 社会科自由研究相談	岡崎むかし館	28年7月24日(日)・25日(月) 10:00~11:30/13:30~15:00	164人
社会科研究作品展 (夏休み自由研究成果の展示)	りぶら ギャラリー	28年10月1日(土)~10月11日(火)	-
社会科研究作品発表会 (優秀作品出品児童による成果発表)	りぶら 103号室	28年10月8日(土) 10:00~11:30	70人

学校等支援状況

社会科見学及び出前授業	見学及び出前講座(学校以外)	収蔵資料等の貸出
28件	7件	14件

資料制作状況

「社会科研究作品展・発表会」記録誌	岡崎むかし館通信	チラシ「学べる道具」
500部制作(出展者及び小中学校)	隔月発行(各校教員向け)	不定期発行(来館者向け)

議事資料 (2)

平成29年度重点目標

目標項目 (何を)	達成方法 (どのように)	目標達成基準 (どの程度まで)
額田センター内への図書館移転作業及び関係条例の改正	移転 ①関係部署等との調整・協議 ②作業内容・スケジュール確定 ③新施設整備、移転の完了 条例改正 ①条例改正案作成 ②教育委員会に議案上程 ③議会に議案上程	移転完了、図書館サービス開始 条例改正を完了
図書館システム更新に関する作業の実施	①仕様書の作成 ②更新契約締結 ③次期システム検証作業 ④次期システムへの更新	更新後図書館システムの稼働
地域（郷土・行政）資料が充実し、郷土資料と写真がインターネットを通して資料閲覧ができる	①古書目録等からの資料調査 ②他図書館への資料提供依頼 ③市政情報コーナーからの資料収集 ④未整理資料の整理、フォトギャラリーへの追加、システムへの登録	地域資料購入費の1割の古書の購入 岡崎市発行行政資料の積極的な収集 未整理写真の整理、フォトギャラリーへの追加 デジタルアーカイブとフォトギャラリーの館内公開・ホームページ公開
ブックスタートの対象者の見直しを行う	①関係部署との協議 ②周知方法の検討 ③案内状、絵本の見直し ④要綱改正	ブックスタートの対象年齢を引き下げて実施
ツールを活用したレファレンス業務ができる	①図書館システムの参考業務機能を活用したレファレンス事例集の充実 ②職員のためのレファレンスツールの作成 ③レファレンス研修による情報の共有化、職員の能力開発 ④県図書館司書による研修会の開催	システム入力したレファレンス事例の公開 レファレンスツールを10テーマ作成 県図書館司書による研修会を1回開催

議事資料 (3)

平成29年度事業計画

講座

時期	事業名	内容	その他
5・6・7月(3回)	ストーリーテリングにおいてよ！ボランティア養成講座	中央図書館で月に1回実施しているストーリーテリングのボランティアを養成する。	
9・10・11月(4回)	ブックスタートボランティア養成講座	中央図書館、額田図書館、げんき館、南部市民センター図書室で行っているブックスタートのボランティアを養成する。	
10・11月(5回)	読み聞かせボランティア養成講座	中央図書館、市民センター等で読み聞かせを行っているボランティアを養成する。	
8・12月(2回)	科学あそび講座(夏休み、冬休み)	科学に興味を持つことのできる実験を行うとともに、関連資料の利用促進を図る。	

データベース活用セミナー

時期	事業名	内容	備考
5月	野菜づくり講習会～DVD上映・ルール電子図書館を活用しよう～	野菜づくりDVD上映と、図書館にある農業専門データベース「ルール電子図書館」を使って野菜づくりのコツを紹介	りぶら会議室103
7月	女性弁護士が教える！やさしい相続と遺言	弁護士による解説と図書館で使える法情報データベース「D1-Law.com」の使い方説明会	りぶら会議室103

ビジネス支援事業

時期	事業名	内容	備考
2月	起業セミナー	日本政策金融公庫と連携して、起業に係るセミナーを開催	

テーマ展示

時期	事業名	内容	備考
4/1-3/31	2階ポピュラーテーマ展示	カラダのびのび 等	1か月半毎にテーマを変更年間8回開催。
4/1-3/31	1階レファレンス展示	菊のカーテンの内と外～皇室があることの意義～ 等	1か月毎にテーマを変更年間12回開催
	1階レファレンス高札	ぱぱんがぱん 等	1か月毎にテーマを変更年間12回開催
	1階レファレンス展示ケース	岡崎の行楽～昭和30・40年代を中心に～ 等	2か月毎にテーマを変更年間6回開催
	1階レファレンスビジネステーマ	新社会人のためのビジネスマナー入門 等	2か月毎にテーマを変更年間6回開催
4/1-3/31	子ども図書室テーマ展示	と・も・だ・ち 等	年間9回開催

読み聞かせ

時期	事業名	内容	その他
毎週火・木	赤ちゃんからの読み聞かせ	赤ちゃんを対象としたボランティアによる読み聞かせ	中央図書館
毎週土	3才からの読み聞かせ	ボランティアによる読み聞かせ	中央図書館

毎週月・木	お話と紙しばいの会	職員による読み聞かせ	中央図書館
毎月第4土	ストーリーテリングにおいでよ!	ボランティアによるストーリーテリング(絵本を使わずにお話を語る)のおはなし会	中央図書館
土(月1回)	外国語の読み聞かせ	英語、ポルトガル語、中国語のローテーションでボランティアにより実施	中央図書館
毎月第3木	0・1・2おはなし会	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
毎月第2土	絵本のおはなし会	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
毎週火	おはなしの森 コロボックルおはなし会	ボランティアによる読み聞かせ	南部市民センター図書室
毎月第2・4土	おいでん!紙しばい	ボランティアによる紙芝居の読み聞かせ	南部市民センター図書室
毎週日	お話と紙しばいの会	南部市民センター職員による読み聞かせ	南部市民センター図書室
毎月第1・3金	おはなし・グーチョキパー おはなし会	ボランティアによる読み聞かせ	東部市民センター図書室
毎月第1土	六ツ美おはなし会	ボランティアによる読み聞かせ	六ツ美市民センター図書室
毎月第1・3土	おはなしポケットやはぎ おはなし会	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
毎月第2金	とんとんひろば おはなし会	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
毎月第3火・4土	おひさまパン おはなし会	ボランティアによる読み聞かせ	岩津市民センター図書室
毎月第2・3水	おはなし・ほたる おはなし会	ボランティアによる読み聞かせ	大平市民センター図書室

その他

時期	事業名	内容	備考
1 2月	としよ♥コン	本を通した男女の出会い	
1月	図書館福袋イベント	中身が見えないように本を包み、貸出す	

議事資料 (3)

平成29年度事業計画

ブックスタート事業

※平成29年10月から対象年齢を生後4か月からに引き下げて実施予定

時期	事業名	内容	その他
週3回 (月午前・午後、木午後)	ブックスタート	生後6か月から1歳6か月の対象者に対して、一組ずつに読み聞かせと絵本のプレゼントを行う。	中央図書館
月1回 (第1木午前)	ブックスタート	生後6か月から1歳6か月の対象者に対して、一組ずつに読み聞かせと絵本のプレゼントを行う。	額田図書館 (偶数月) 南部市民センター図書室 (奇数月)
月5～6回 (火・水・金)	ブックスタート	1歳6か月児健康診査受診者のうちブックスタート未実施者に対し、一組ずつに読み聞かせと絵本のプレゼントを行う。	岡崎げんき館

子ども図書室事業

時期	事業名	内容	その他
4月23日 前後	子ども読書の日イベント	おはなし会、子ども一日司書体験、手作り工作 等	中央図書館
夏休み期間	夏休みイベント	夏休み読書・自由研究相談、子ども一日図書館司書体験 等	中央図書館
12月	冬休みイベント	クリスマスおはなし会 等	中央図書館

りぶらまつり2017

時期	事業名	内容	その他
11/11、12	未定	未定	

図書館まつり

時期	事業名	内容	その他
8/18-20	2017第15回岡崎図書館まつり	おはなし会、琵琶弾き語り、絵本作家講演会、詩とマンドリンコンサート 等	

岡崎むかし館

企画展

時期	事業名	内容	その他
3月23日～ 5月23日	昭和の岡崎スケッチ	昭和時代の岡崎・康生界限を描いた早川円浄氏の色紙作品と、図書館の所蔵資料を展示	
5月25日～ 9月5日	夏のくらし	昔の夏のくらしを知るための道具の展示	4か月毎にテーマを変更

館内イベント事業

時期	事業名	内容	その他
通年	むかし館で楽しむ「むかしばなし・紙芝居」(月1回第4木)	「岡崎むかし語りの会」によるむかしばなしと紙芝居.	むかし館
通年	体験講座「触れてみよう、遊んでみよう、むかしの道具」(月1回第3日)	けん玉、お手玉など、懐かしい遊びに挑戦	むかし館
4月/6月 9月/11月	講座「岡崎風土記」	「信仰からひもとく岡崎」計4回	りぶら 会議室103
7月23・24 日	岡崎むかし館夏休み子どもイベント「岡崎むかし館クイズラリー」	むかしのくらしに関するクイズラリー及び社会科自由研究相談窓口	むかし館

学校支援事業等

時期	事業名	内容	その他
9月30日～ 10月10日	社会科自由研究作品展	夏休み社会科自由研究の代表的な作品の展示	りぶら ギャラリー
10月7日	社会科自由研究作品発表会	夏休み社会科自由研究のうち、代表作品を児童生徒により発表	会議室103
随時	館内社会科授業・見学等受入	要相談	むかし館
随時	出前授業	要相談	
随時	道具の貸出	要相談	
随時	りぶら映像アーカイブス貸出	要相談、ノートパソコンにて館外閲覧対応	

議事資料(4) その他

中央図書館・南部市民センター図書室、岡崎むかし館の「夏休みイベント」について

内容

下記日程表のとおり

場所	行事	日時	対象及び人数	募集方法
中央図書館 (子ども図書室)	第20回「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品展	7月15日(土) ～8月31日(木)	どなたでも	参加費不要 当日参加
	夏休み読書・自由研究相談	7月16日(日) 14:00～16:00 7月20日(木) ～7月25日(火) 10:00～16:00 7月28日(金) 10:00～12:00 8月4日(金) 14:00～16:00	中学3年生までの児童・生徒とその保護者	参加費不要 当日時間内に随時
	子ども一日 図書館司書体験	7月29日(土) 7月30日(日) 8月8日(火) 10:00～15:00	【29日・30日】 小学4～6年生 各日 6名 計 12名 【8日】 中高生 3名	7月14日(金)必着 往復はがきにて申込み。 応募者多数の場合、抽選
中央図書館 (りぶら103会議室)	夏休み科学あそび講座 「ドライアイスで遊ぼう」	8月10日(木) 10:00～12:00	小学生 計 20名	参加費200円 7月21日(金)必着 往復はがきにて申込み。 応募者多数の場合、抽選
中央図書館	第15回岡崎図書館まつり 【プログラム参照】	8月18日(金) ～8月20日(日)	【プログラム参照】	【プログラム参照】
南部市民センター図書室 (シビックセンター 1階ロビー)	夏休みお楽しみ おはなし会	8月8日(火) 16:00～16:40	幼児、小学生	参加費不要 当日会場へ
岡崎むかし館	岡崎むかし館クイズ ラリー ----- 社会科自由研究相談 会	7月23日(日) 7月24日(月) ① 10:0～11:30 ② 14:0～15:30 【相談会は、クイズラリー開催中 随時受付】	小中学生	事前申込不要 当日会場へ